

## NHK放送センター建替工事における発注手法および評価等の進め方について(案)

## 1. 発注手法

## (1)発注・契約方式

放送センターの建替工事については、長期間に及ぶ工事であり将来の放送サービス量や技術革新に柔軟に対応するため、また業者の経営悪化など不測の事態を回避するために二期以上に分けて発注することにしました。  
 ※  
 契約方式については、次の視点を重視し、共同企業体でも施工会社単独でも参加が可能となる『設計・施工一括発注方式』としました。

- 高度な技術力・ノウハウ等の採用(現在地整備)
- 工期短縮の可能性

※ 本方式を採用するにあたり、発注者業務支援方式を導入します。また、工事の監理については第三者に委託します。

## (2)落札者の決定

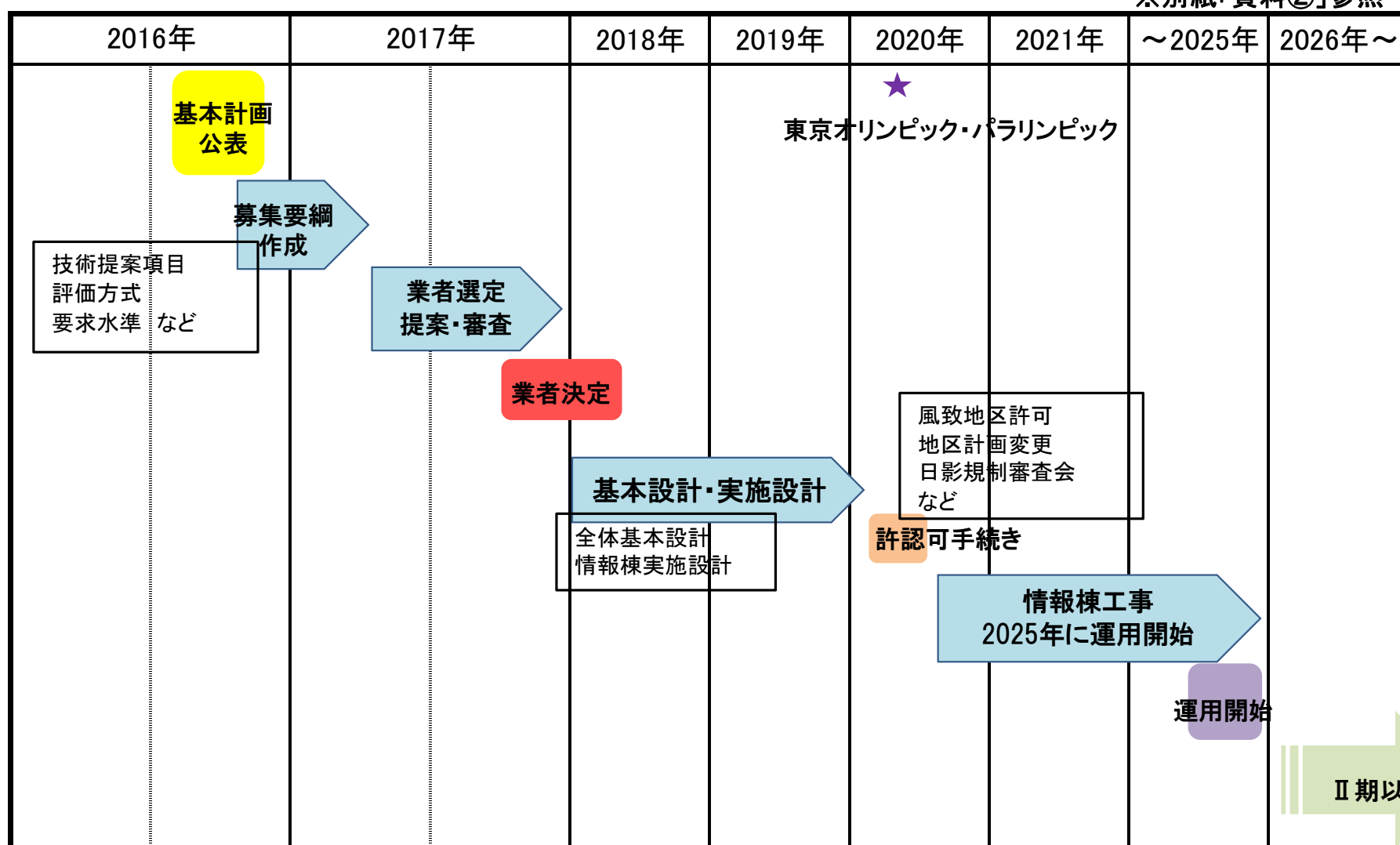
コストを重視しながら施工業者の持つ独自の技術やノウハウを工事に反映させるべく『総合評価落札方式』を採用し、高度な技術や優れた工夫を含む提案を入札参加者に求め、入札価格と技術提案を総合的に評価したうえで落札者を決定します。

(総合評価落札方式については、事項NO.5で詳細を説明)

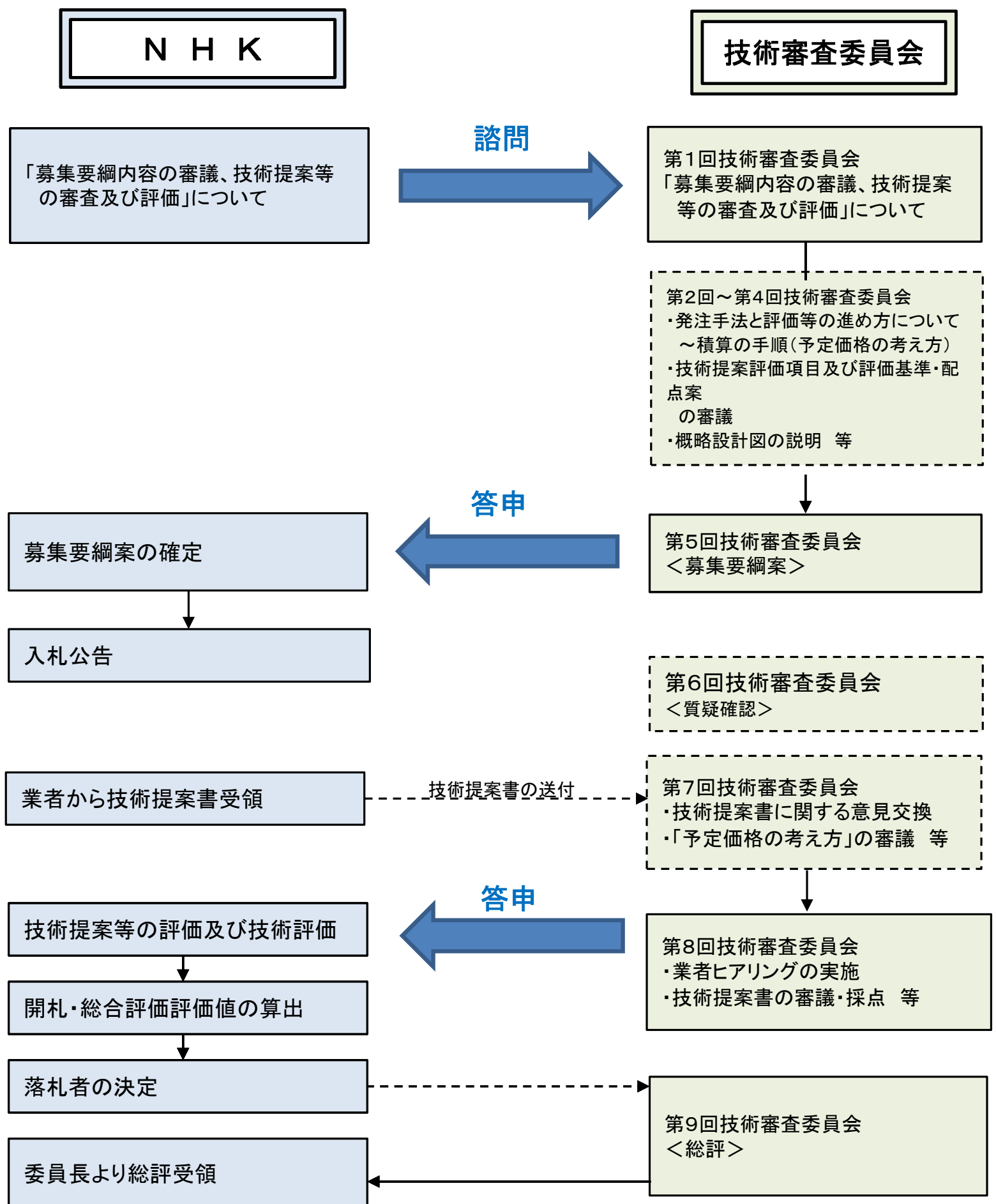
## 2. 事業の全体スケジュール

今年8月に公表した建設基本計画をもとに、工事の発注手続きを行い、2025年度の完成を目指します。

※別紙「資料②」参照



### 3. 発注に関するスケジュール(案)



### 4. 募集要綱の基本構成(章立て)

#### 第1章

- ・基本コンセプト、基本方針

#### 第2章

- ・発注方式、スケジュール、参加資格
- ・技術提案を求める事項、評価項目と評価点

#### 第3章

- ・設計業務、施工業務の範囲と仕様
- ・適用法令
- ・施設整備の要求水準
  - 配置計画、動線計画、セキュリティ計画、各室面積などの要求一覧

## 5. 総合評価落札方式における評価について

総合評価落札方式(除算方式)の仕組み

※別紙「資料③」参照

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}((\text{基礎点}100\text{点})+(\text{加算点}100\text{点満点}))}{\text{入札価格(億円)}}$$

☆ 基礎点と加算点からなる技術評価点を入札価格で割って評価値を求めます。  
 評価値の最も高い者が契約の相手方となります。

▽基礎点: 要求水準を満たしている場合に得られる得点

▽加算点: 入札参加者から提出された技術提案を評価基準に基づき算出

※本件では、評価値が同点の場合は技術評価点が高い者を落札者とします。  
 入札価格は円単位で受け付けます。評価値の計算では億円未満は小数点未満に反映して除します。

## 6. 積算の手順(予定価格の考え方)

一般的に設計・施工分離発注方式では、実施設計図から算出した詳細な資材等の数量と公共建築標準単価により建設費を積算しますが、本工事で採用する設計・施工一括発注方式では、発注段階で実施設計図がありません。このため、発注仕様書と、これに基づいて作成する概略設計図から、主要資材の概算数量を算出し、類似施設の実績や発注準備支援業者の持つ統計データ等により設計・建設費を積算します。

